

広域周辺図（周辺の見所）



府中市歴史民俗資料館Info



【開館時間】 10時～17時
 【入館料】 無料
 【駐車場】 約100台
 【休館日】 祝日を除く月曜
 年末年始
 【電話・Fax】 0847-43-4646

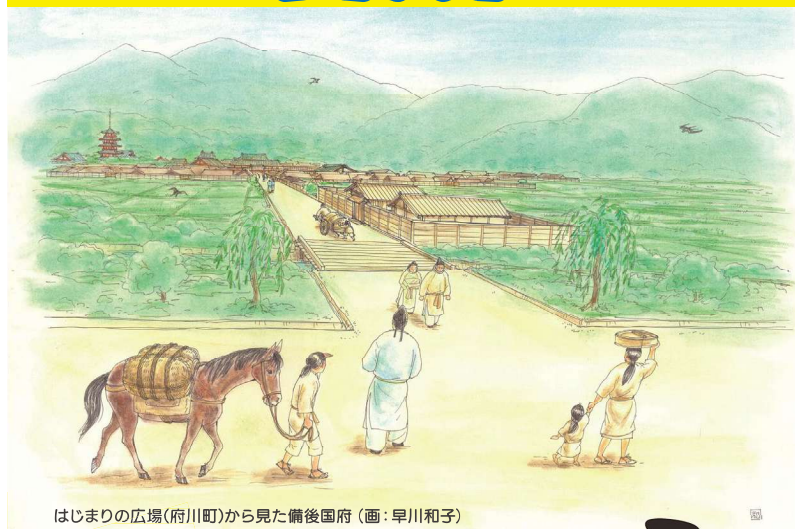
周辺の見所【国府に關係の深い寺社など】

- 南宮神社：府中市栗柄町2980…府中駅から車で15分
- 日吉神社：府中市本山町85…府中駅から車で15分
- 青目寺：府中市本山町1201…府中駅から車で15分
- 青目寺跡・常城推定地：府中市本山町～福山市新市町
…府中駅から車で30分
- 吉備津神社：福山市新市町宮内400…新市駅から車で10分
- 素戔鳴神社：福山市新市町戸手1-1…上戸手駅から徒歩5分

府中市へのアクセス

- 福山東I.C.から…車で約30分
- 三原・久井I.C.から…車で約35分
- 福山西I.C.から…車で約20分
- 尾道J.I.C.から…車で約20分
- 福山駅からJR福塩線で…府中駅まで約45分

備後国府を歩こう MAP



国府ひめちゃん

【備後国府マスコットキャラクター】

ようこそ府中へ！
 当時はこんな
 様子だったよ！

国府のまちを
 想像しながら
 歩いてね♪



国府まる君

【備後国府マスコットキャラクター】

備後国府のまちのイメージ図



備後国府の想像図 (画: 早川和子)・約1200年前をイメージしています

「府中」という名は、約1300年前、備後国 (現在の広島県東部) を治める役所「国府」があったことに由来しています。
国府は、奈良～平安時代 (西暦 700 ～ 1200 年頃) の約 500 年の間、

備後地域の政治・文化・経済の中心地としてにぎわいました。現在も、いたるところに、当時の名残をとどめています。国府は、「府中のまち」「ものづくりのまち」のルーツといえるでしょう。

条里—古代から中世後期にかけて行なわれた土地区画制度 (条里制) に基づいたもの。約 109 m 間隔で直角に交わる平行線により正方形に区画される特徴があり、現在も道路や水路に当時の影響を残している。

国府の重要な建物は、元町を中心に広がっていたよ。国府への道や国府の建物は、真北を基準にして、計画的につくられていたんだね。

一方で、「条里」と呼ばれる土地区画は、山陽道を基準につくられたみたい。現在も、道路として残っている所が多いわ!

古代山陽道
※「はじまりの広場」で、道路の側溝が確認されました。

びんごこくふ **備後国府を歩こう!! ~何があるかな~**

1 とりい **鳥居地区(備後国府跡)【国府の入口】**

古代山陽道から、国府へ至る道の分岐点。
 「はじまりの広場」という公園になっています。

山陽道の幅は12m以上、国府へ至る道の幅は約6mでした。日吉神社の石鳥居ひよしんじや（市の重要文化財）も建っています。

また、文化センターの工事中に、「権介」ごんのすけ（国司の役職名）と書かれた土器（平安時代）ひとがたや人形（まじない札）ふだが出土しています。



し字に曲がる道路側溝



出土した人形

2 **ツジ地区(備後国府跡)【国史跡指定地】**

奈良時代から平安時代を通して利用された重要な場所こくしのたちで、国司館などの重要施設がありました。

施設を囲む一辺約110m四方の区画や、整然と並ぶ大型建物群せいぜん（瓦葺き建物を含む）が確認されています。役人のベルト飾りかわらぶや硯すずり、高級食器（施釉陶器）せゆうとうきや輸入陶磁器ゆが大量に出土したほか、奈良三彩や銅印など希少なものが出土しています。



硯



ベルト飾り



3 なかしょうじ **中小路【国府の都市計画の名残】**

国府のあった時代の地割が、現在も道として利用され続けている、趣のある古い小路です。



4 びんごのくにそうじや **備後国総社【国府のそばに設けられた神社】**

備後国内の神様をあつめた神社で、平安時代に、国府の近くこくしに設けられ、国司が参拝しました。
 ツジ地区北の丘陵上（総社山）にあり、かつては備後で最も重要な神社でした。今は江戸時代に現在地に移転した小野神社の境内社のひとつとなっています。



総社

5 ささやき **ささやき橋【伝説の地】**

近世地誌にも記述がある古くからの名所。
 都から赴任した国司が、この地で、地元の女性と恋に落ち、都へ連れて帰ったという恋物語が伝わっているほか、色々な伝説が残っています。



ささやき橋

6 すなやま **砂山地区(備後国府跡)**

鳥居地区で確認された国府へ至る道の延長線上に位置しており、国府系軒瓦も出土しています。
 国庁（国府の中心施設）推定地のひとつです。



国府系軒瓦のデザイン

7 **ドウジョウ地区(備後国府跡)**

南北約80mにおよぶ区画施設があったと考えられ、北辺で並行する2つの溝が確認されました。土塁があったと考えられます。「京」「所」などの国府らしい墨書土器も出土しています。



調査のようす

8 いしい みず ちょうじゅえんめい れいせん 石井の水【長寿延命の霊泉・伝説の地】

その昔、芦田宿禰^{あしたのすくね}という人の娘が、この霊水で輝くばかりの美人となり、ヤマトタケル^{きさき}の後となったという話や、弘法大師伝説が残っています。

9 さんりゅうじひがし 金龍寺東地区(備後国府跡)【国史跡指定地】

平安時代初めに、庭園の池がつくられ、石積基壇^{いしづみきだん}上(25m×18.3m)に格式の高い瓦葺きの礎石^{そせき}建物が建てられました。国府系の軒瓦も出土しています。

政治的な宴会(饗宴^{きやうえん})などを行う施設、もしくは国府の宗教施設だったのではないかと考えられています。



石積基壇



鳥がかかれた瓦瓦が出土

10 でんよしだでら 伝吉田寺跡【県史跡】

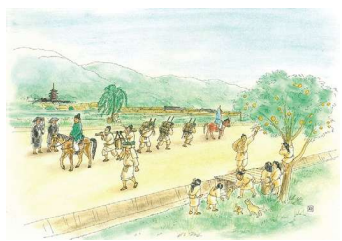
白鳳時代(7世紀後半)に創建された寺院ですが、国府のそばにあり、奈良時代以降は国府の宗教機能を担っていたと考えられます。塔心礎と伝わる石が、金龍寺の境内にあります。



塔心礎

11 横井地区(古代山陽道跡)

横井地区では、古代山陽道の両側の道路側溝が見つかり、道路の幅が約10mあったことがわかりました。現在「であいの広場」として整備されています。



であいの広場から見た山陽道と国府(画：早川和子)



車でGO!! ～国府ゆかりの地や資料館へ～

【備後国府に関係の深い寺社など】

●南宮神社

国府の南を鎮守したとされる神社。
平安～鎌倉時代の神像が国の重要文化財。
本殿・鐘撞堂・隨身門は市の重要文化財。



南宮神社 本殿

●日吉神社

国府の鎮守社と伝わる神社。
本殿は市の重要文化財。



日吉神社 本殿

●青目寺

平安時代初期の仏像などが県の重要文化財。

●青目寺跡・常城推定地

国府の真北にそびえる亀ヶ岳周辺にあります。
古代山林寺院跡と古代山城推定地。

●吉備津神社(福山市新市町宮内 400)

備後国一宮。本殿など重要文化財が多くあります。



亀ヶ岳周辺と七つ池

◎府中市歴史民俗資料館(府中市土生町882-2)

備後国府跡の貴重な出土品と一緒に、国府のあった時代の復元衣装も展示しています。
当時の衣装体験や、草木染め等、国府に関連した歴史体験も行なっています。
建物は旧芦品郡役所庁舎(市の重要文化財)。



来てね!